

## 江古田小校長室便り 「温故創新」

H29 (2017)・1120 NO46

校長 伊波喜一

ほんわりと 耳傾けて ひとつことも 心洗わる 笑顔思ひて

「警戒（けいがい）に接する」と言う。言葉の抑揚や温もりなどという意味合いも伝わってきて、母語と似たような、温かみと同時に懐かしさを感じさせる言葉である。A先生は、筆者が30代にお世話になった方である。当時、私は「目的に向かって一直線」というと聞こえはよいが、今から思えば周りへの配慮が足りなかった。調整不足だったり、相手の立場を十分に尊重出来ていなかったりしたため、こちらの意図が十分に伝わらず、同意を得られなかった。

その事で先生に不満を訴えると、先生は黙って最後まで話を聞き、一言。「あなたの言うのは筋が通っているし、正論だね。でも、彼の立場になってみれば、ああ言うのも分かるなあ」。結論らしきことは何もおっしゃらず、何だか肩透かしを食らったように感じた。しかし、冷静になって考えてみると、原因は自分自身にあることが瞭然だ。（人のせいにして何も解決しない）。その事を先生は、傾聴することで教えてくださった。警戒と言う文字を目にすると、なぜか、先生の柔和な表情と声のトーンが鮮やかに思い出される。